

「若者が主役!地域まるごと活性化事業」
里山再生プロジェクト第2弾《遊べる里山を造れ》
遊べる里山を造り隊実行委員会 笠岡市大井中央公民館

1. 事業の概要

子どもにとって外遊びは学校での学びや食事、睡眠と同じくらい大切なことですが、時間も仲間もなく、禁止事項だらけの公園では思いっきり遊ぶことはできません。そんな時、自然素材(木、土、火等)を使った遊びと里山の自然を体験出来るような場所として、27年度に発見した南昌院跡を整備、開放し子どもの遊び場、誰でもが憩える場としての活用を図る為、以下のような活動をしました。

- (ア) 跡地整備
 - (イ) 実のなる木の植樹
 - (ウ) 巣箱の取り付け
 - (エ) 伐採体験
 - (オ) 工作体験
 - (カ) 薪割体験
 - (キ) チェーンソーによる伐採仕事見学
 - (ク) 木登り遊び
 - (ケ) ロープ遊び

2. 事業内容と活動

- (ア) 若者の参画
 - 実行委員会への参加
- (イ) 若者が主体的に活動した場面
 - ① 子どもたちの体験活動への参加
 - ② 植樹活動への参加
- (ウ) 公民館の役割・連携
 - 実行委員への連絡調整、
 - 会議や現地活動の設定準備

3. 成果

自然があふれる空間に時間と仲間を得て子どもたちは自らしたいことをしているように見えました(木登り、巣箱かけ、ロープ遊び、伐採木跨ぎ)。このような機会を常に得ることが出来ればチャレンジ精神、コミュニケーション力等々、様々な生きる力を自ら育てて行くことでしょう。

4. 課題

埋もれた旧道の普及は出来て人は通れるようになって、伐採木等の整理のため、運搬機による運搬ができるようにする為の道路拡幅に時間がかかること。

5. 今後のビジョン

- ① 誰でも利用でき楽しめる場所とするための設備を、既にある木々を活用して作りたい。
- ② のこぎりや鉋を使った工作や木登り等自然体験の参加費を得て事業の活動費としたい。

活動写真集

植樹



チェーンソー作業見学



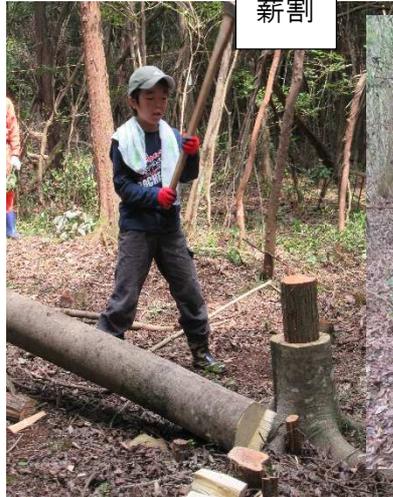
丸太切り



切ったよ！



薪割



ロープ遊び



巣箱かけ



丸太を担いで



実行委員会

